



令和8年3月1日現在

世帯数	994 戸
人口	2,234 人
男	1,107 人
女	1,127 人

### ニュースポーツ体験会

1月25日(日)内田公民館にて「ニュースポーツ体験会」が開催されました。

参加者は役員含めた大人が21人、子供が5人の計26人でした。

競技は「地上のカーリング」とも呼ばれるポッチャと、フィンランド発祥で、木の棒を投げてピンを倒すモルツクの2種目です。

最初に参加者全員でラジオ体操で体をほぐした後、スポーツ推進員の上條さんと丸山さんのご指導のもと、ポッチャとモルツクの2チームに分

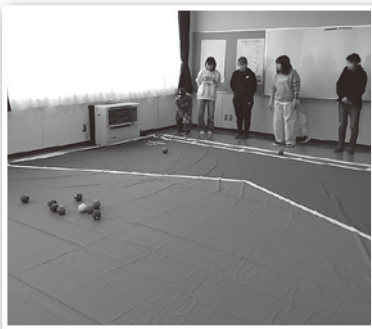
かれて競技をスタートしました。

ポッチャは、白い目標球にいかにつけたボールを近づけるかを競うゲーム。モルツクは倒したピンの数字の合計が先に50点になった方が勝ちというゲームです。両競技ともに単にボールや棒を投げるだけでなく頭脳戦の側面もあるため、周りからのアドバイ

スも飛び交い、皆で大いに盛り上がりました。大人以上にお子さん達の活躍が目立ちました。ファミリーで楽しめるニュースポーツです。

次回も多くの方にご参加いただければと思います。

第7町会 小澤 敦志



▲ポッチャ



▲モルツク

### 人権啓発講座



今回の講座は身近にある戦争の遺跡についての講義でありました。豊科郷土博物館館長の原 明芳さんは戦争遺跡について大変造詣が深く、私の身近にあっても意味を理解できていなかった遺跡に、理解の道筋をつけてくださいました。戦争は人権を毀損する最たるものでありますが、その影がその時を過ごした人々の様々な思いを、形として残して現在に至っています。

「戦没者を利用してはいけない」という言葉が心に残りました。

### 人権啓発視察 研修

無言館見学 二月二十日  
総勢二十三名参加

テレビ等で名前だけは聞いていましたが今回の研修を機に初めて伺いました。

大東亜戦争で無念にも学徒出陣した当時の美大生の作品が展示されています。展示物を見ると絵画がメインで他、戦地からの家族・友人とのやりとりの手紙でした。十代後半から二十代の若き学生に赤紙が届き戦地に動員され遠く離れた異国の地での戦死、又は病死でした。もっと長く生きられていたら多くの絵の大

家が生まれていたのでないかと思えます。

私は絵を評価する見識もありませんが、あのコンクリートでできた建物の雰囲気の中であの絵を見てみると現代に於ける私たちはしっかりと生きていかなければならないと思えました。戦争で多くの若き命と財産が失われました。そして日本人が心を一つにしてがんばった戦後八十年、奇跡の復興が成されたと思っています。

「無言館」という名前の通り皆様戦争について個々の意見もあると思いますが二度とあの悲劇をくり返させない為、各人に問う為の、かけがえのない施設だと思います。

内田地区人権啓発促進協議会  
会長 丸山 一雄



# おつまみ講座

2月27日(金)におつまみ講座がありました。

昨年度の復活から2回目の今回の参加者は18名でした。前回と同じようにおつまみとなる料理はみんなで作り、お酒は参加者が飲みたいものを持ち込みます。  
おつまみのコンセプトは簡単に作れて洗い物が少ない



コンセプトにのっとり、今回のおつまみは『長いもの明太チーズ焼き』、『大根サラダ』、『豆腐と納豆のキムチ和え』。更に農村女性協議会の中島智壽子さんと横山和子さんお二人にも協力していただき、アイラップを使った料理も作りました。  
このアイラップ、何かといえますと、調理したい具材を袋の中に入れ、袋ごとお湯で温めると料理が出来る優れものです。  
限られた水で調理が出来るため、防災食としても注目を集めています。実は夏休みに行われた、『夏休み子ども防災合宿』でもカレー作りに使われていました。

普段とは違う調理方法に戸惑いながらも参加者の皆さんは、頑張つて作っていました。完成した料理が机に並んだら、待ちに待った乾杯です。皆さん、自分たちで作った料理を褒めながら、楽しそうにお酒を飲んでいました。お酒が進むほどに話が弾みました。話題は、趣味や健康の話、更にはかつての青年団時代の話など、とどまる事を知りませんでした。  
最後、会場を閉めた後も片付け等を率先して行い、参加者の皆さんは名残惜しそうに帰路につきました。  
大変楽しい会となりました。今回参加できなかった方もぜひ次回こそは、ご参加ください。お待ちしております。  
なお、今回のメニューは隣にありますので、皆様ぜひご覧ください。

## おつまみ

- あさりともやしの酒蒸し (アイラップ)
- ポークチャップ (アイラップ)
- ベーコンとまいたけのクリームバスダ (アイラップ)
- 長いもの明太チーズ焼き
- 大根サラダ
- 豆腐と納豆のキムチ和え

# 感謝状贈呈



昨年退任された丸山明良元内田公民館長に令和8年2月15日付感謝状が贈られました。

これは7年という長い期間にわたり、公民館活動とその発展のために貢献されたことについて、教育委員会から贈呈されたものです。

2月15日は、丸山元館長が出席出来なかったため、おつまみ講座で現館長から感謝状を贈呈しました！丸山元館長7年間ありがとうございました！

## つれづれ編集記

「名もない想い」  
知らなかった名を一つ手に取る

ササラ祭  
文字の奥に  
人の息づかいがあった

準備の朝  
太鼓の音  
終わった後の静かな地面

調べるほどに祭りは  
行事ではなく時間だった  
人から人へ渡されてきた  
途切れない時間

書くことは覚えること  
覚えることは守ること

その前に  
私は立ち止まる  
知ろうとする

紙の上には載らない  
それでも残したい

地域の営みと  
その奥にある名もない想いを  
自分の言葉で  
そつと次へ